

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救助笛配布事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	横山 友二			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上のみ世帯の市民	意図	外出時の不安解消とともに、緊急時の迅速な救助活動に役立つ。
事業内容	外出時に携帯することで、緊急時には笛を吹いて周囲に知らせることができ、不安解消に役立つ救助笛を配布する。筒内には住所、氏名、緊急連絡先などを記入したカードを収納しておくことができる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に廃止した事業であるが、平成26年6月一般質問により配布要望があり、平成26年度に開始した事業である。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		配布数	3,472	729	360	個	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						事業開始当初に在庫を確保していた300個を大きく上回る配布申請があり、補正や流用によって対応した。民生・児童委員からの配布希望もあり、特に救助笛が必要と思われる、ひとり暮らし高齢者には一定程度行き渡った。平成28年度は360個配布した。
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,080,880	1,120,200	686,500			
事業費(b)(円)		389,880	367,200				
うち一般財源		389,880	367,200				
職員給与費(c)(円)		691,000	753,000	686,500			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	必要な人に行き渡るように広報、ホームページ等により継続して周知に努める。	取組の課題	認知症の方や認知症の恐れのある方など、救助笛を必要とする方に行き渡りよう周知していく必要がある。
今年度(H28)に実施した取組	民生委員・児童委員の協力でPRを図り、必要な方に配布を行った。また、ささえあい条例に伴う自治会を中心とした地域の説明会において救助笛のPRに努めた。	今後の改善計画	救助笛の必要な方に行き渡りよう、広報やホームページ等による周知の他、民生委員・児童委員の協力に加え、ささえあい条例に伴う自治会を中心とした説明会等でPRを図っていく。